受領　令和８年９月 28 日 10 時 56 分	通告番号（３）1/2

令和８年９月 28 日

読谷村議会
議長　比　嘉　幸　雄　　殿

読谷村議会議員
當　間　良　史　　印

一 般 質 問 通 告 書

第 555 回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第 61 条第２項の規定により通告いたします。

質　問　要　旨	答弁を求める者
１　生活基盤整備について 人口動態や住宅開発、観光客の増加など、今後の村を取り巻く環境の変化を踏まえ、下水道、生活道路、雨水排水などの生活基盤整備を今後どのように進めていく考えか。	
２　座喜味城跡周辺の観光・収益施設整備について 世界遺産・座喜味城跡を「訪れる場所」から「滞在し、地域経済につながる場所」へ発展させるため、飲食、物販、休憩施設などの収益施設を周辺に整備する考えはないか。	
３　観光による利益の地域還元について 観光客の増加を単に入域客数の増加にとどめず、地域事業者の所得向上や雇用創出、地域環境の整備など、観光によって生み出された利益を村民へ還元する仕組みが必要と考えるが、村の見解は。	
４　民間活力を活用した公共施設整備について 厳しい財政状況の中にあっても、将来必要となる公共施設やスポーツ・交流施設等の整備を進めるため、PFIやPPPなど民間の資金、ノウハウを積極的に活用する考えはないか。	

質　問　要　旨	答弁を求める者
5　地産地消の観点から地産品推奨及び地元企業優先仕様についてどの様に取り組んでいるか。	
6　10年後の読谷村の将来像について 人口、観光、産業、教育、福祉、インフラ整備などを総合的に捉え、村は10年後の読谷村をどのような村にしていきたいと考えているのか、その将来像を問う。	